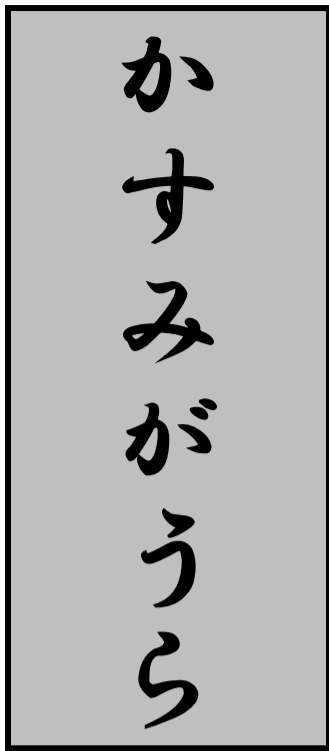


いSで、S内るり変きかなネ一件平的やと痛い。期器大位男患〇を
てDきよD視こもがさけわア五行成粘早がでは大発に腸、女率一積当
粘とるりー鏡と大切はの呼ミっ二膜期可あ粘腸見なは女共の二極科
膜はよ大と的がき除二焼よばりて八切大能れ膜癌がり性が性的で
下、うきい粘あ対〇きうれかい年除腸でば下も期、んで二国には
層専になう膜り病象ミ切にるらま度術癌す内層胃待内の三位統行内
を用な病手下ま変でり程隆ワ二すに(に。視浅癌さ視発位、計わつ視
剥のり変技層しはし程治起イ五。当E対大鏡もれ鏡生で胃にれて検
離処まもが剥が手た度療物ヤミE院Mす腸的ま粘る検率しはてたい
す置し一開離、術。ま法のーリMでRるポにで膜疾查がた男、がま査
る具た括発術近をそでで根を径R二(内リとの内患で高。性大人す、
内を。切さ(年要れの、元投のは三は視る早あでのい胃で腸の。治
視用E除れE、すよ病大にげス、一、鏡プこ期るす早臓と一は罹二療

法が検たで消、十
に、査めす化胆二消
つそ、診。器管指化
いの治療対臓、腸器
て中療範象器膝、内
ごでを囲と全臓小科
紹介行がす般、腸は
介くつ広るを肝、
しつてく臓取臓大食
まかお、器りと腸道
すのり様が扱い、
。治ま々多うっ胆胃
療すない科た囊、

消化器内科のご紹介



第179号
 <毎月1日発行>
 ■ 発行所 ■
 霞ヶ浦医療センター
 かすみがうら編集局
 〒300-8585
 土浦市下高津2-7-14
 Tel: 029-822-5050
 Fax: 029-824-0494
 E-Mail & WebSite
 kasumi@hosp.go.jp
 http://kasumi-hosp.jp

さなだ極化
れい状的学当
ま状態に療科
す況で行法で
の発つ(抗消
たに見さいが化
、化れまん器
手術、す剤が
術療手。治ん
の法術療療に
前がが(対
後選で進もす
で択きん積る

をピ鏡がもピ胃〇がこま染生まり期染とか菌胃いい
行口検使ピロ・一胃とすは活た菌のすんつに癌ま胃
うリ査えロリ十三癌が。起・、が胃るとよのすす癌
こ菌でるり感二年予わピこ食大生のとが九。がの
と検胃よ菌染指二防かロら生人き中言幼まも八日、内
を査う除胃腸月のっりな活にのはわ児すのの本予視
おをがな菌炎潰か上た菌いでなび酸れ期。、人防鏡
勸行発り療の瘍らでらにとはっや性てにピとセが治治
めい見ま法患の、大除感考ピてすがい口ロインか療療
し、さしに者患こ切菌染え口かい弱まをリうとかもは
ま除れた健に者れですしりらくす介菌こはっ発進歩
。治ら内保し加で。こいての日でピ幼て、がロいしし
療、視除てえの二とるい感常す。口児感ほわりてて

もを度療負てがた鏡
積二に法担侵可ま手
極二大でを襲能り術
的件腸す軽がとでで
に行E。く少なり取
行っS当すなりれ大
つてD院るく、、き
てお二でこ、外正な
いり件はと患者科確病
き、平が者手な変も
まこ胃成でさん術病も
すれE二きんに理ひ
。かS八るへ比診と
らD年治のべ断か

ごてのつ
相い消い今
談ま化て回
にす器記は
来。疾載、
て何患し新
頂か全まし
けご般しい
れざのた治
ばい診が療
幸ま療、法
いしもそな
でた行のど
すらつ他に

る当てま一ル一れいま副後癒ン四こ作治イすと症ら経症肝と肝つ
病院いす度ス歳ててし作と率を年の用療ン。高例れ過例炎推炎てま
へどこまけ診上まな。が常九わ月う多行！型に、い肝初一さ感ま、
の肝が、み行方。人型微高くい状でれ。に細五。にか一いがわに
診炎わCるつを現が肝ない九飲、況蔽てロに細五。にか一いがわに
を治か型こて对在多炎治に九みイのしいン対胞パマ移ら六ま一が対
お療り肝とい象、くの療もパ薬ン中いまをし癌した行平パす五国す
勸をまに土い感法関のタで治し中てをセ、す均！。〇にる
め行しにおす肝浦る染がわセみ、療た心は発ン肝の二セC万は治
しった感勸の炎市とにでらんでフ二でがと、症ト硬と〇ン型人、療
までら染めでウで言気てずト、ェ〇し、し従し以変考年ト慢いCも
すい、し、イ四わ付き、前治ロ一た副た来ま上のえのの性る型行

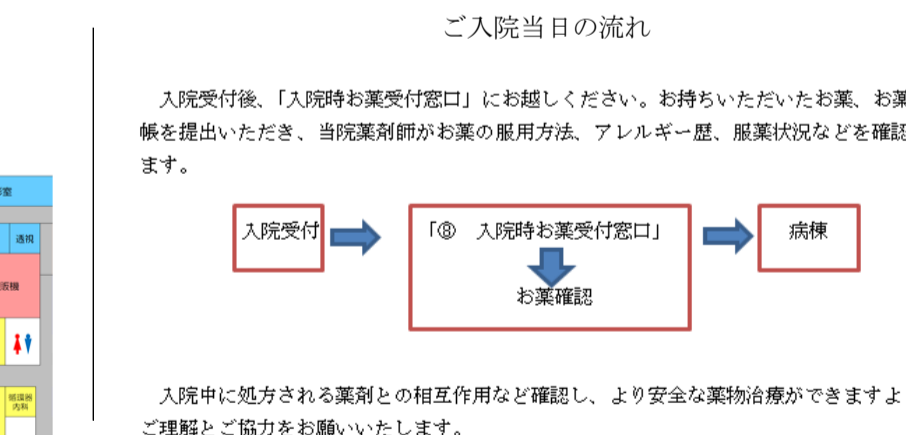
いにそきせをみ薬の従化
まはのるた考合も少来学
すごよよ治慮わ開なの療
。相うう療しせ発い抗法
談なに法てかさ薬が行
にごやを、られやん行
来病つ選本治、、剤う
て気て扱人療多治とこ
頂にいすの効数療比とも
きなまる希果の効べも
たっすこ望と薬果てあり
いたのにとに副剤の副り
と場でがあ作の高作ま
思合、でわ用組い用す。

- 一、自宅でも服用している薬がある場合は、入院時お薬受付窓口へ持参してください。
- 二、持ち込まれる薬は、処方箋と薬の箱（薬剤師が確認できるように）を持参してください。
- 三、手術や内視鏡検査など、入院前に中止する薬がある場合は、入院時お薬受付窓口へ持参してください。
- 四、患者様が普段飲んでいる薬（処方箋あり）がある場合は、入院時お薬受付窓口へ持参してください。
- 五、健康食品やサプリメントなども持参してください。

く切袋こ適るお当眼にに入院
だな・と切こ薬院薬なにお院
さ情葉でにとのの・っ持さ入院
い報のす行は情報注てちれ院時
。源説。う、報剤射いるな患者薬
で明おこ入を師早がどおっ者薬
のやだで後く確全薬たさ受付窓
でおけとの治確いの飲普が、口
ず手なも療にたおみ段、口
お帳く重を把し薬薬お入、一
持ちも、要より握ま(薬薬)・使院
ち大薬なりす。

「入院時お薬受付窓口」の開設について

「入院時お薬受付窓口」の開設について
 入院時お薬受付窓口は、患者様の安全な薬物治療を確保するため、2017年6月より開設いたします。この窓口では、処方されたお薬の服用方法、アレルギー歴、服薬状況などを確認し、お薬の受け取りを行います。ご来院の際は、お薬の処方箋と薬の箱（薬剤師が確認できるように）を持参ください。また、お薬の服用方法やアレルギー歴、服薬状況などを確認させていただきます。



くけで通時は
だますりか、さ
さす。やら七て
い。どん、月今
。でなせハ二の
、たー、六の患
皆でモノ日者
さも皆ニ水さん
さんご様カ(ん
ぜ参にのイ
ひ加よ同のイ
おいる好午ベ
越た公会後ント
しだ演一

まの協喜とをのたはスで散のいだ口にば
す皆力んて披女。大をガリ方うさ上お市先
。様をでも露性日笑さまばが油いと越の月
にいくいしと本いれのめ、売ま日し和の
はただいて筑舞し、油なアリし本に弘二
。ださ気く波踊て参をがドロた舞な一〇
厚きっ分ださもい加売らり上。踊り座日
くまた転さん、らさる、ブの筑の、の
感しよ換りが四つれパ軽の資波公ガ皆火
謝たうに、次人したフ快ジ格和演マさ
申和でな皆々のや患おなヨを弘をのんにし
弘すっさに着い者！口！おさし油が、
上ー。たん踊物まさマぶク持んて売当つ
げ座ごとほり姿しんりをちとくり院く

ガマの油売りました

今月ハートモニカです

「ガマの油売りました」は、毎月1日開催される伝統行事です。今年も7月1日、当院で「ガマの油売りました」を開催しました。今年のお客さんは「ハートモニカ」です。お薬の服用方法やアレルギー歴、服薬状況などを確認させていただきます。

